



ふじのくにユースネット

Vol.
170
2020.MAR

静岡県青少年育成会議広報紙

地域の子供は、地域の大人が育てる！ 若者の未来を応援しませんか

レク楽の会（静岡県青少年育成会議会員）主催事業
【レク楽のひろば キャンプ】 2019.8 実施

本事業は、静岡県青少年育成会議が交付する「県民
運動推進事業費補助金」を活用して実施されました。
補助金の詳細は 5 ページをご覧ください。



— CONTENTS —

- 目次・会員活動写真 1
- 令和元年度「子供・若者育成支援強調月間静岡県大会 in 牧之原市
家庭と地域で子どもを育てる市民のつどい」報告 2
- 令和元年度「青少年団体等の顕彰」受賞者一覧 3-4
- 少年の主張全国大会、会員団体紹介① 4
- 県民運動推進事業費補助金を活用した事業の紹介 5
- 会員団体紹介②・会員募集 6

子供・若者育成支援強調月間静岡県大会in牧之原市

家庭と地域で子どもを育てる市民のつどい

「ビリギャル」の母 橘こころ氏の講演



講演テーマ
**子どもの善意を信じると、
 子どもは伸びる、子育てが楽で愉しくなる!**

2015年公開の映画「ビリギャル」のモデルになった小林さやか氏のお母様である橘こころ氏を講師にお迎えしました。「いつでも子供に寄り添い、あきらめず、信じることを信念に子育てをしてきた結果、子供たちが自分で進路を見つけ歩みだすことができたという経験を踏まえた御講演は、子供を一人の人として尊重すること、子供の自尊感情を育むことへの学びを深める機会となりました。

静岡県では、11月を「子供・若者育成支援強調月間」と定めています。これに合わせ、静岡県青少年育成会議は、県、県教育委員会及び県警察本部と連携し、県民の皆さんに、「地域の子供や若者のためにできること」を考え、行動するきっかけとしていただくため、毎年、「子供・若者育成支援強調月間静岡県大会」を実施しています。

本年度は、11月23日(土)に、「牧之原市相良総合センター いくら」において、牧之原市に共催いただき、「子供・若者育成支援強調月間静岡県大会 in 牧之原市 家庭と地域で子どもを育てる市民のつどい」を開催しました。当日は、県内各地からおよそ300人が集い、子供・若者の健やかな成長を願って応援する想いを共有しました。

「青少年団体等の顕彰」表彰式



受賞者紹介は、P 3・4

静岡県青少年育成会議では、地域づくりに貢献している青少年団体・個人及び青少年指導者団体・青少年指導者の功績を称える顕彰を行っており、県大会で表彰式を行いました。

人権擁護委員の活動紹介



牧之原市人権擁護委員の皆様

委員の皆様より、人権教室の出前講座等、委員の活動を紹介いただいたほか、人権クイズも出題いただき、自分の人権も、相手の人権も大切にすることについて、あらためて考えることができました。

わたしの主張作文発表



「寝る授業」

「バレーボールと僕」

「叶えたい夢」

「教育の尊さ」

牧之原市内にある4つの中学校の代表生徒が、わたしの主張の作文を発表してくれました。どの生徒も堂々と、それぞれの想いを発表することができました。

写真左上：相良中学校3年 藤野 ちひろ さん

右上：榛原中学校3年 糸田 篤紀 さん

左下：牧之原中学校3年 戸塚 琉衣 さん

右下：御前崎中学校3年 小笠原 遥菜 さん

写真内表記：作文タイトル

「青少年団体等の顕彰」受賞者紹介 (敬称略・順不同)

青少年の部



あわた まあや
栗田 真礼
(沼津市)

平日の放課後や休日、高齢者住宅において介護ボランティアを行う活動を中学校入学当初から実施している。食事の配膳や移動補助、施設のイベント運営など、入居者の日常生活に係る様々なサポートを毎日継続している。こうした姿勢は、他の生徒の模範になるとともに、地域の福祉の向上に大きく貢献している。

青少年の部



さかべ みさき
坂部 実咲
(藤枝市)

平成 24 年5月から藤枝光文庫に所属し、点訳者養成講習会初級・中級課程を取得。製作した点字絵本や点字歌集などは全国の視覚特別支援学校や県内の視覚障害者福祉施設に寄贈され、利用者の方から高く評価されている。こうした地道な活動により、視覚障害者福祉の向上に大きく貢献している。

静岡県青少年育成会議では、県内各地で地道に優れた活動を展開し、明るく住みよい地域づくりに貢献している青少年団体・個人及び青少年指導者団体・青少年指導者を顕彰し、その活動を奨励するとともに、広く県民の皆さんに紹介しています。
今年度は、青年の部2名、青少年指導者の部3名、青少年団体の部6団体の皆さんが受賞しました。

青少年指導者の部



かわい ひでこ
河合 秀子
(浜松市中区)

浜松市青少年育成指導員になった平成11年5月から20年以上にわたり、街頭補導活動や少年相談活動などを通して地域の青少年を見守り続けている。浜松駅周辺では毎月3回程度、居住地域においては毎月2回程度の補導活動を継続して実施しており、子供たちが安心・安全に暮らすことができる地域づくりに大きく貢献している。

青少年指導者の部



せりざわ さとみ
芹澤 知見
(御殿場市)

平成21年4月から子ども会ジュニアリーダーとしての活動を開始し、現在は三島シニアリーダークラブ「すくえあ」の会長を務める。自然体験合宿など、団体が以前から行っていた自主事業に加え、活動拠点の三島以外の地域のジュニア指導にも積極的に関与するなど、団体としての活動の幅を拡げており、子ども会組織の充実にも大きく貢献している。

青少年指導者の部



わたなべ よしのぶ
渡邊 義信
(三島市)

平成26年4月から5年間、三島市青少年健全育成会会長を務め、市内の各地域や団体で行われる青少年健全育成活動の先導役を担った。特に、全市一斉あいさつ運動の拡大に尽力し、運動参加者を会長就任年度に比べ約3倍に増加させるなど、子供たちが安心・安全に暮らすことができる地域づくりに大きく貢献した。

青少年団体の部

静岡県立磐田北高等学校箏部(磐田市)

特別養護老人ホームや敬老会といった高齢者施設への訪問演奏に加え、地元のイベントでの出張演奏など、地域に根差した活動を昭和58年から毎年続けている。参加者からは、日本音楽独特の音色がとても癒されると好評を得ている。高齢者をはじめとした地元の方と、音楽を通じた交流を図ることで、地域福祉の向上と活気ある地域づくりに大きく貢献している。



青少年団体の部

静岡県立天竜高等学校春野校舎吹奏楽部(浜松市天竜区)

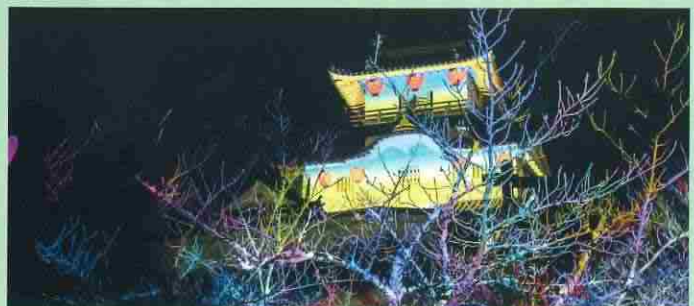
毎月1回程度行っている特別養護老人ホームへの訪問演奏に加え、芸能発表会といった地元のイベントでの出張演奏など、地域に根差した活動を続けている。中山間地域にあり、部員も少なく、練習時間も限られるという状況の中、高齢者をはじめとした地元の方と、音楽を通じた交流を図ることで、地域福祉の向上と活気ある地域づくりに大きく貢献している。



青少年団体の部

静岡県立掛川西高等学校パソコン部(掛川市)

地元の象徴である掛川城にプロジェクションマッピングを行うという新たなイベントを創設。当イベントは、自治体や企業などと協働しつつ、生徒が主体となってゼロから作り上げた。高校生らしい演出に「まるで劇場にいるよう」といった声や拍手が湧き起こるなど観客に大変喜ばれている。地元の新たな風物詩として定着しており、活気ある地域づくりに大きく貢献している。



青少年団体の部

静岡県立韮山高等学校写真報道部(伊豆の国市)

地元企業の歴史や製品の魅力を独自の視点で発信する新聞を発行・配布しており、地域に根差した新聞づくりを通じて地域活性化に貢献。他にも自治体とタイアップしたジオツアーの企画や、韮山反射炉での英語ガイド、鉄道会社と協働した限定列車の運行など、新聞という枠にとらわれない、幅広い活動を展開している。



青少年団体の部

聖隷クリストファー中・高等学校ハンドベル部(浜松市北区)

キリスト教学校という特色を活かし、平成14年からハンドベル演奏による慰問活動を行っている。宗教曲にとどまらず、多くの方が親しみやすい曲もレパートリーに加えるなど工夫を凝らすことで、子供から高齢者まで幅広い層の方の好評を得ている。訪問先は医療施設や福祉施設、幼稚園・保育園など多岐に渡り、地域に根差した継続的な活動が展開されている。



青少年団体の部

浜松学院高等学校生物部(浜松市中区)

科学体験を通じて、子供たちに科学の面白さや楽しさを伝えるサイエンスボランティア活動を展開。科学イベントにブースを出展し、科学実験など日常の活動で見つけた驚きや感動を、子供たちにも理解できるように工夫を凝らした展示をしている。子供たちの科学への関心を高めるなど、地域福祉の向上に大きく貢献している。



少年の主張 全国大会

「わたしの主張2019」静岡県大会で最優秀賞を受賞した望月香琳さん(静岡市立清水両河内中学校3年)が、12月8日に国立オリンピック記念青少年総合センターで開催された「第41回少年の主張全国大会」わたしの主張2019」に出場しました。

当日は、佳子内親王殿下、悠仁親王殿下の御臨席の下、多くの聴衆を前に、全国から選ばれた12人が、日常生活の感動や想い、感謝の気持ちを発表しました。

望月さんは、県大会同様、「地域と共にある生徒会—今、私たちにできること、すべきこと」の題で発表しました。地域への恩返しをしたいという熱い想いをしっかりと伝えることができ、審査委員会委員長賞を受賞することができました。

おめでとうございます。



全国4,180校、48万人を超える中学生の中から選ばれた12人が全国大会で発表

審査委員会委員長賞受賞!

まきのはら水辺の楽校(会員団体紹介①)

まきのはら水辺の楽校は、全ての動植物にとつて、必要不可欠で、命をつなぐ唯一の共通の物質である「水」をテーマに、平成7年から活動を行っています(団体名称は平成11年から使用)。県青少年上級指導者の鈴木康之代表のもと、子供たちを対象に各種の体験会を開催し、体験から学び、発見して、自ら考え、自ら行動できる人材の育成に努めています。「水」のつながりを知る体験には、米づくり・野菜づくり・釣り体験・里山の保全・生物観察会等があります。

作物づくりでは、完全無農薬で、土づくりから始まり、保水・収穫・食べる(食育)活動を年間を通して行っています。

土づくりとして、落ち葉に米糠と水を混ぜ、落葉堆肥をつくり、落葉堆肥は、昆虫類のゆりかごとな

まきのはら水辺の楽校は、堆肥内に集まって来たミミズを釣り体験の餌として活用するほか、堆肥を田んぼや畑に撒いて有機肥料として活用し、農業体験にもチャレンジしています。活動場所の田畑・里山等は、遊休地を無償で提供いただき、活用しています。

釣り体験では、釣り上げた魚をその場で調理・食すことを通して、水を汚すと、人にも影響があることを体験から学び、水を汚さない

大切にすると意識を養っています。

「まきのはら水辺の楽校」から育った子供たちが将来のリーダーとして、活躍できればと、私たちは期待しています。

また、大人の指導員育成として、県青少年指導者・プロジェクトWET、プロジェクト・ワイルド、プロジェクト・ラーニング・ツリー等の指導員育成プログラム等も、定期的開催しています。

まきのはら水辺の楽校(会員団体紹介①)



体験から学び発見する

まきのはら水辺の楽校 ホームページ
<http://www4.tokai.or.jp/pwsn1/>

県民運動推進事業費補助金を活用した事業の紹介

静岡県青少年育成会議では、青少年育成県民運動の積極的な展開を図るため、県内各地で地域に根ざした青少年健全育成事業を実施する会員の主催事業に対して、補助金を交付しています。

令和元年度は、県内各地の会員10団体が、それぞれ3万円の補助金の交付を受け、特色ある事業を展開しました。

今回は、そのうちの2つの事業を紹介します。

① レク楽のひまわり 主催 レク楽の会

本事業は、レクリエーションは世代を問わず、誰でもみんなが楽しめることを主眼に、様々な団体の方や地域で活動している方とのコラボレーションにより、多彩な内容を提供する事業です。

主催者のレク楽の会は、子供からシルバースター世代までみんなで気軽に楽しめるレクリエーション財の紹介、レクリエーションをとおしての異世代交流・地域交流・男女共同参画の推進に取り組むほか、県教育委員会が定める青少年指導者の養成、日本レクリエーション協会レクリエーションインストラクターの単位認定が可能な事業を生かしてのレクリエーション指導者の育成と発掘をめざして活動しています。



「救急法を覚えよう」

浜松城北工業高等学校環境部がボランティア参加

浜松市消防局の協力によりAEDや心肺蘇生法の体験、消防車の見学や消防服の試着等を実施



「クリスマスパーティー」

日程 平成31年4月～令和2年2月の水・土を中心にのべ46回

場所 ユーコープ小豆餅店、浜松市立青少年の家、佐鳴湖公園北岸管理棟、県立湖西高等学校湖風館

内容 「七夕・音楽あそび」「おやつづくり」「バルーンアート入門」「室内ペタンク」等のレクリエーションイベント（一般コース等）及びレクリエーション指導者の養成講習（レクリーダーコース）を実施



本事業は、放課後児童クラブ、子育て支援サークルの活動時間に、専門の講師を招き、キヤリア教育プログラム「ドリームマップ」講座を実施する事業です。

ドリームマップとは、自身の夢をビジュアル化して表現するもので、写真や雑誌などの切り抜きを貼る、イラストや文字で表すなど、自分の手を動かしながら、表現していきます。

子供たちが、自身が描いた夢を友達や親、地域の大人たちに知ってもらうことにより、仲間や大人たちが、自身の夢について

② 未来の夢を描こう「ドリームマップ」 主催 ユースネットふくろい

て応援してくれる人が周りにいることを感じ取ってもらえることで、子供たちの社会性と生きる力が育まれます。

主催者のユースネットふくろいは、青年団活動で培った社会貢献活動のノウハウを活かし、若者の社会参加、就労支援に取り組むとともに、次代を担う子供たちの生きる力を育む活動を展開し、明るく住み良い地域社会の創造と発展に寄与することをめざして、活動しています。



自身の夢をビジュアル化



ビジュアル化でイメージをより具体的に

場所 ①袋井市立高南コミュニティセンター (R1.7.30)

②袋井西小放課後児童クラブハウス (R1.8.23)

③袋井市立高南コミュニティセンター (R1.12.27)

対象 ①小学生 ②小学生 ③幼稚園児、小学生、保護者

NPO法人イーランチは「家庭も子育てでも大切にしながら社会参加もしたい」という女性たちが2003年に設立し、青少年のインターネット安全利用の啓発に力を入れてきました。その後インターネットは飛躍的な進化を遂げ、情報機器も多様化し、その便利さや楽しさを享受する一方、「ネットいじめ」「ネット依存」「不適切な投稿」等、青少年の事件やトラブルは年々複雑化し、安全利用のための研修やネットパトロールがより求められている状況です。



スマホのある子育てを考えよう

誰もがICTで豊かに暮らせる社会づくりを応援します！

また、乳幼児も手にするようになってきたスマートフォンは、子育てに便利に使われるシーンがある反面、発達への影響の心配や、使わせる親への厳しい目もある現状です。

そこで、子育て経験のあるイーランチとしては、子育ての大変さに寄り添いながら、適正利用のためのル

今年度は、中高校生向けの教材印刷に「県民運動推進事業費補助金」を使わせていただき、従来の一方的に話を聞くだけの講演スタイルではなく、手を動かし、事例を学べる講座を実施しました。



すぐろくで「わが家」のルールを考える

ールの作り方や守り方、あるいは子供の手本となる使い方を示すなど、保護者の心構えを伝えるセミナーを全国の幼稚園・保育園等で120回実施、延べ7500人以上の乳幼児の保護者にご参加いただきました。

さらにインターネットの災害時の有効利用や、キャッシュレス決済で利用者が増加した高齢者のスマホ利用のサポート、そして年々増加し巧妙化するサイバー犯罪に対するセキュリティ対策を伝えることも、これからの重要なミッションと考えます。私たちはこれからも、誰もがICTで豊かに暮らせる社会づくりを応援します。



プリントでスマホトラブル疑似体験

イーランチ ホームページ
<https://npoelunch.jp>

一緒に若者の未来を応援しませんか！

昭和42年発足

- ・合い言葉は、「明日の郷土を担う 青少年づくりは県民全ての手で」
- ・会長は静岡県知事

地域の子供・若者の健やかな成長を支援する主催事業

- ・わたしの主張県大会
- ・子供・若者育成支援強調月間県大会
- ・青少年団体等の顕彰 等



「地域の子供は、地域の大人が育てる」

静岡県青少年育成会議

会員募集

会員数 176

- ・35市町民会議、137団体、4個人
 - ・教育、文化、スポーツ、福祉、産業等多分野の会員で構成
 - ・ホームページで各団体情報を公開中
- 「静岡県青少年育成会議」で検索

会員の皆様に対して

- ・会員証交付、当会議ロゴデータ送付(自由に使用可)
- ・内閣府の研修会、県教育委員会事業等の情報提供
- ・ユースネット(本紙)や啓発用リーフレットの送付

【正会員】個人会費：年額1,000円 団体会費：年額3,000円

【賛助会員】年額一口5,000円とし、一口以上